



エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：令和元年12月1日（第79号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会

事務局 TEL（88）6639 FAX（88）3231

エコクッキングを開催します

12月8日（日）午前9時～午後1時

維孝館中学校調理室

エコクッキングは身近な旬の材料をあますことなく使い、無駄を省きながら健康に良いメニューを考えるものです。今回は冬の野菜などを使って、体にも環境にもやさしいものを作りましょう。みなさんのご参加をお待ちしています。

・材料費：500円

・参加希望者は事務局（役場建設環境課：88-6639）までお申し込みください。



予定しているメニュー

- ・ちらし寿司
- ・お好み焼き
- ・サバの梅煮
- ・根菜スープ
- ・かぼちゃのスイーツ

写真は昨年12月のメニュー

ふるさとまつりに出展しました

11月3日に開催された「ふるさとまつり」にブース出展しました。

これまでは10月中旬に開催され、昨年は会場が総合文化センターから住民体育館になりました。さらに、今年は住民グラウンドで開催されている「商工祭」と同日開催となり、さらなる盛り上げが図られました。エコパートナーは住民体育館アリーナ内のふるさとまつり会場の一角にブースを設け、省エネ診断などを行いました。



ブースは会場の入り口近くにあるため、来場者が必ず前を通りかかり、こちらから声をかけて省エネ診断をしていただきました。省エネ診断は日常生活の行動からどのような項目について省エネにつながる行動ができているのか、なにが不十分なのかを診断書の形で示してくれます。来場者に書いていただいたアンケート項目をPCに入力し、できあがった診断書をプリントして手渡しました。

ふるさと自然体験ハイキングを実施しました

11月17日（日）、ふるさと自然体験ハイキングを開催し、総合文化センターを出発し、立川の平岡地区から大道寺地区を經由し、道中田んぼに建てられた柿屋や、「古老柿」の材料である「つるのこ」を収穫している様子を見学しました。作業をしている方にお話をうかがうと、古老柿を作るうえで気温が低く、空気が乾燥していることが必要だが、今年の秋は気温が高い日が続き、柿の収穫と干すタイミングが難しいと言われました。温暖化等で天候が不順になると、地域の特産品の製造にも影響が現れてきます。

珍しいところでは、開花した竹を見ることができました。竹は数十年～百年単位で開花し、その後枯れてしまうと言います。実際目にした竹も同じ株と思われる一角の竹がことごとく枯れてしまっていました。

また、新たな発見として、異様に葉が巨大になるチャノキ「コーロ」の新たな株を見つけることができました。その葉の大きさは一目見てもわかるほど巨大なものです。

御林山林道に入るまでの谷間は涼しく年中水気が多く、様々なシダやコケを見ることができます。林道沿いも赤や黄色に色づいた紅葉を楽しめます。

御林山の広場で昼食をとったあと、山頂を目指して登りました。山頂には三等三角点があり、そこを目指して登ってきた人が設置したと思われる札が木の枝にかけられていました。

下りの道では現在新しい庁舎が建設されている現場や遠く城陽方面まで見渡せる絶景スポットがありました。草木やきのこ、鳥のさえずりなどを見聞きしながら、立川糠塚地区を經由して文化センターまで戻りました。



竹の花



枯れた竹



コーロ



ホコリタケ

お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局（宇治田原町建設事業部建設環境課内）
〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出 10
TEL 0774-88-6639 FAX 0774-88-3231 Eメール：junkan@town.ujitawara.lg.jp

会報のバックナンバーをご覧ください

宇治田原町役場ホームページ「トップ」⇒「環境衛生」⇒「エコパートナーシップうじたわら」
エコパートナーシップうじたわら facebook ページ公開中



茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原